



第19号
H27年4月21日

発行 結城地域農業改良普及センター
TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682
HP <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/noucenter/fukyu/yuki/>

平成27年度「結城農業かわら版」の発行に当たって

平成15年に取り組みが始まった「茨城農業改革」は、今年で13年目を迎え、着実に成果が現れております。

普及センターでは、新たな農業・農村政策(4つの改革)を踏まえ、「茨城農業改革大綱」や「県西地域農林業振興基本計画」に基づき、園芸産地の育成、水田農業の確立、担い手の確保育成、エコ農業の推進等の課題に取り組み、当地域の農業・農村振興を進めてまいります。

「結城農業かわら版」は、普及センターと地域の農家の皆様を結び月刊ミニ情報紙として発刊8年目を迎えました。引き続き身近な地域農業や農家の動き、普及センターの取組みやお知らせ等の情報をお届けする親しみやすい紙面づくりを心掛けていきたいと思っております。

センター長 吉川 勇

4Hクラブの活動紹介



結城
4H

トウモロコシ直売

結城管内には、2つの4Hクラブ（農業後継者クラブ）があり、20～30代を中心とした若手農業後継者のみなさんが、精力的に活動しています。

今年度、結城市農村青少年クラブ（結城4Hクラブ）は、夏季のトウモロコシ生産・直売や冬季のハクサイ生産といったプロジェクト活動を行います。

八千代町・常総市の若手農業後継者の鬼怒4Hクラブは、幼稚園児を対象としたトウモロコシ収穫体験、ハクサイ栽培における新規登録殺虫剤の効果確認などを行う予定です。

各4Hクラブでは、活動を通じて地域の若手農業後継者同士の情報交換、仲間づくりを行い、積極的な活動を行っています。クラブの活動に興味を持った方は、普及センターまでご連絡ください。



鬼怒
4H

ハクサイ栽培



TEL : 0296-48-0184
結城4Hクラブ担当 大吉
鬼怒4Hクラブ担当 後藤

冬季水田放牧の実証展示圃現地検討会

3月18日、常総市の佐藤宏弥氏ほ場にて、肉用牛一貫経営を営む筑紫畜産農協の若手後継者を対象とした冬季水田放牧の現地検討会を開催しました。佐藤氏はこの技術を導入して2年目になりますが、増頭が可能になっただけでなく、難産の減少、良好な子宮回復などに効果があり、一年一産を達成できました。出席者から積極的な質問があり、それぞれの地域の実情に合わせた放牧導入を検討している様子でした。



農業学園アグリ講座受講生募集&新規就農者情報募集！

新規就農者や農業の基礎を学びたい方を対象とした農業学園アグリ講座を開講します。農業経営に必要な基礎知識の習得や仲間づくりの場として、ぜひご活用ください。詳細は普及センターまでお問い合わせ下さい。

また、新規就農者や定年帰農者の情報も募集しています。身近に該当する方がいらっしゃいましたら、普及センターまでご連絡下さい。（担当：後藤）



土壌・肥料のはなし — 窒素の働き —

窒素は、リン酸・カリウムとともに肥料の三要素で、作物の生育に不可欠な成分です。作物に吸収された窒素は、細胞内のタンパク質や核酸、光合成に携わる葉緑体中の成分などになります。

窒素が不足すれば、作物の生育に影響がありますが、過剰でも、作物の徒長化や病害虫などによる減収・品質低下が起きやすくなるので、作物の種類に応じた適正な施肥が必要です。また、窒素肥料を多用しすぎると、土壌中の窒素が雨水とともに流失してしまうことから、環境保全の面からも必要以上の施肥は避けなければいけません。

平成27年度 結城地域農業改良普及センター 職員構成

センター長 吉川 勇

経営課 (全域)

課長 霞 正一 (果樹経営)
 係長 吉澤 富江 (庶務)
 専門員 鈴木 秀文 (果樹経営)
 専門員 水野 浩 (野菜経営)
 主任 遠藤 優子 (経営・流通)
 技師 大吉 美幸 (新規採用)
 嘱託 高松 義正 (経営・流通)
 臨職 風見 知美

地域普及第一課 (結城市, 八千代町)

課長 山崎 和幸 (野菜経営)
 専門員 張替 光樹 (作物経営)
 専門員 小山 弘之 (野菜経営)
 主任 常見 高士 (花き経営)
 技師 中村 真澄 (野菜経営)
 嘱託 寺山 久雄 (作物経営)

地域普及第二課 (常総市)

課長 野口 敬命 (野菜経営)
 副主査 兒玉 満明 (作物経営)
 技師 後藤 舞 (野菜経営)
 技師 古山 憲秀 (作物経営)
 技師 中山 舞香 (育休代替)
 技師 小林 暁子 (育休)
 (アグリBiz社)

新センター長のもと、今年度もよろしくお願ひ致します。

※ () 内は専門項目